

香港で民主化デモが激化

2014年9月30日

<香港中心部で民主化デモ>

9月28日、“オキュパイ・セントラル(金融街・中環を占拠せよ)”という民主派団体により事前計画されていた占拠が前倒しで実行されました。

その後、警察による主要幹線道路の封鎖が続いており、デモによる公共交通機関への影響が拡大しています。物資の輸送にも影響が出ており、多くの地域で小売店が営業停止を強いられています。また、一部の銀行の支店が営業を停止しています。さらに、香港の多くの学校でも先生たちによるデモ応援のために、授業停止となっているとの報道もされています。一部の地域ではデモ組織者のコントロールが効かなくなっているとの報道もあります。

<デモの背景>

香港が1997年に中国に返還された際、行政長官(香港政府トップ)の選挙については2017年から普通選挙制を導入すると約束されていました。しかし、中国国務院(政府)が今年6月10日に発表した香港白書では、中国政府の意に沿わない人物は事実上立候補できない内容が示され、8月31日には親中派が多数を占める香港指名委員会の過半数の推薦を受けた者しか行政長官選挙に立候補できないことを全国人民代表大会(全人代)常務委員会が決定しました。

これまでも香港白書に反発し、6月20日に普通選挙制導入のあり方を問う非公式の住民投票が行われたほか、独立記念日の7月1日には大規模なデモが実施されてきました。

9月22日からは抗議の意思を示すため、香港の大学生が授業ボイコットを開始、25日には多数の学生が行政長官との直接対話を求め、公邸前に集結しましたが応じられませんでした。また、大学教授などが発起人となった“オキュパイ・セントラル”が、10月1日にセントラル(香港島金融の中心地)を占拠して実力行使にすることを宣言していました。

今回、行政長官との直接対話要求を無視された学生団体は、10月1日に予定される“オキュパイ・セントラル”による占拠を目前に、一部過激化し、9月26日、27日には政府庁舎を取り囲んだり、車道などを占拠する行動に出ました。その際、平和的な抗議活動に対して警官隊が催涙弾を使ったことや、高校生リーダーが逮捕・政治的に拘束されたことへの反発が強まり、一気に抗議デモが広がりました。これに呼応する形で、9月28日には“オキュパイ・セントラル”の発起人が直ちに占拠を実施するとの宣言を行い、今回の抗議活動へと発展しました。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<香港株式市場への影響>

香港株式市場はデモの激化により、投資家センチメントが悪化し、下落しています。現時点では事態収拾の行方が見えづらい状況にあり、株式市場も事態収拾までは不安定な状態が続くと思われます。引き続き事態を注視してまいります。

香港株式市場の推移



(出所)ブルームバーグ

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。